

仲卸業者の経営状況 2022（概要）

1 社当たりの売上高は増加するも、依然厳しい経営状況 —6 割弱の事業者が経営の健全性に関する指標（※）に該当—

（※）経営の健全性に関する指標

①流動比率 100%未満、②自己資本比率 10%未満、③3期連続経常損失のいずれかに該当

【調査方法】

令和5年9月までに提出された仲卸業者の事業報告書（令和4年1月1日から令和4年12月31日までに終了した事業期間に係わるもの）をもとに、企業会計原則等に基づき修正し集計した。

サンプル数：843社（水産物 495社、青果物 286社、花き 38社、食肉 24社）

【ポイント】

○ 1社当たりの売上高は3.1%増加、増収業者の割合は22.4%→66.4%と増加

＜取扱品目別1社当たり売上高の増減＞

	令和3年	令和4年	対前年比
全 体	97,152 万円	100,167 万円	103.1%
水 産 物	46,042 万円	53,195 万円	115.5%
青 果 物	164,121 万円	155,806 万円	94.9%
花 き	81,137 万円	101,558 万円	125.2%
食 肉	392,333 万円	403,728 万円	102.9%

○ 営業損益及び経常損益の黒字計上業者の割合はいずれも増加

・売上総利益率では全体の63.0%の業者が下降し、前年（45.2%）に比べ、その割合は増加した。

・一方、営業損益では黒字の業者が全体の24.6%→33.3%、経常損益では黒字の業者が全体の44.6%→52.3%と、いずれも前年に比べその割合は増加した。

○ 借入金比率は 49.1%→48.8%と推移

・全体の 8.9%（前年 8.9%）の業者が無借金経営をしている一方で、29.2%（前年 29.6%）の業者は借入金比率が 100%を超えており、債務負担は依然として大きい。

<取扱品目別の借入金比率>

	令和3年	令和4年	増減
全 体	49.1%	48.8%	△0.3%
水産物	62.5%	60.6%	△1.9%
青果物	37.9%	38.4%	0.5%
花き	47.3%	42.0%	△5.3%
食肉	53.7%	54.6%	0.9%

○ 経営の健全性に関する指標に該当する業者割合は増加

・経営の健全性に関する指標該当業者は全体で前年 451 業者（57.1%）→467 業者（57.9%）と、前年より 0.8 ポイント上回っている。

<指標該当業者数>

	いずれかの 指標に該当する 業者数	指 標			全ての指標 に該当	調査対象 業者(注)
		流動比率 100%未満	自己資本比率 10%未満	3期連続 経常損失		
全 体	467 業者 ^[57.9%] (451 業者)	176 業者 (158 業者)	383 業者 (386 業者)	226 業者 (172 業者)	74 業者 (54 業者)	806 業者 (790 業者)
水 産 物	309 業者 ^[64.8%] (305 業者)	124 業者 (118 業者)	253 業者 (258 業者)	163 業者 (124 業者)	57 業者 (43 業者)	477 業者 (469 業者)
青 果 物	131 業者 ^[48.9%] (118 業者)	45 業者 (34 業者)	106 業者 (102 業者)	59 業者 (44 業者)	15 業者 (10 業者)	268 業者 (259 業者)
花 き	21 業者 ^[56.8%] (22 業者)	6 業者 (5 業者)	18 業者 (20 業者)	4 業者 (3 業者)	2 業者 (1 業者)	37 業者 (38 業者)
食 肉	6 業者 ^[25.0%] (6 業者)	1 業者 (1 業者)	6 業者 (6 業者)	0 業者 (1 業者)	0 業者 (0 業者)	24 業者 (24 業者)

(注) 令和2年、令和3年、令和4年の3期連続して事業報告書が提出された業者

※ []内パーセンテージは全体又は取扱品目ごとの調査対象業者に占める上記指標該当業者の割合

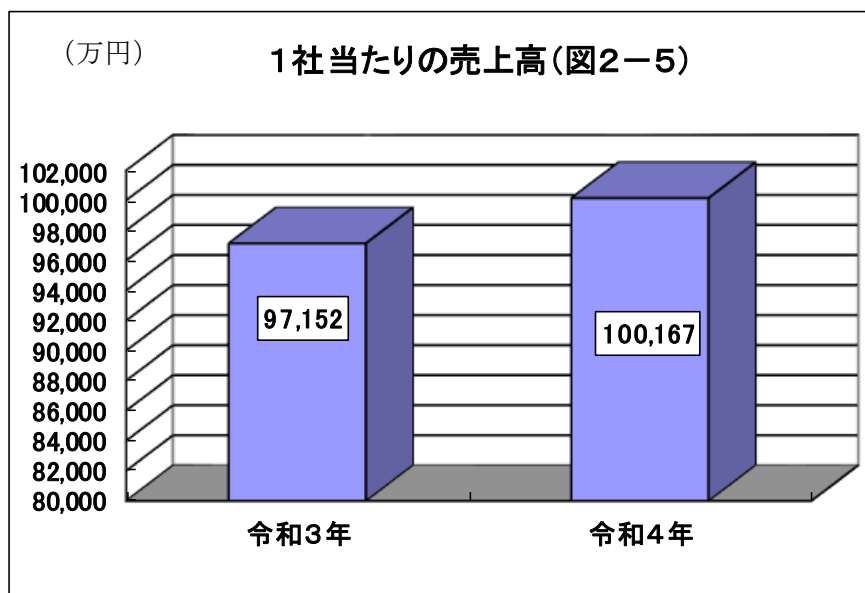
※ 下段 () 内は前年の調査結果

【概要】

1 1社当たりの売上高は増加

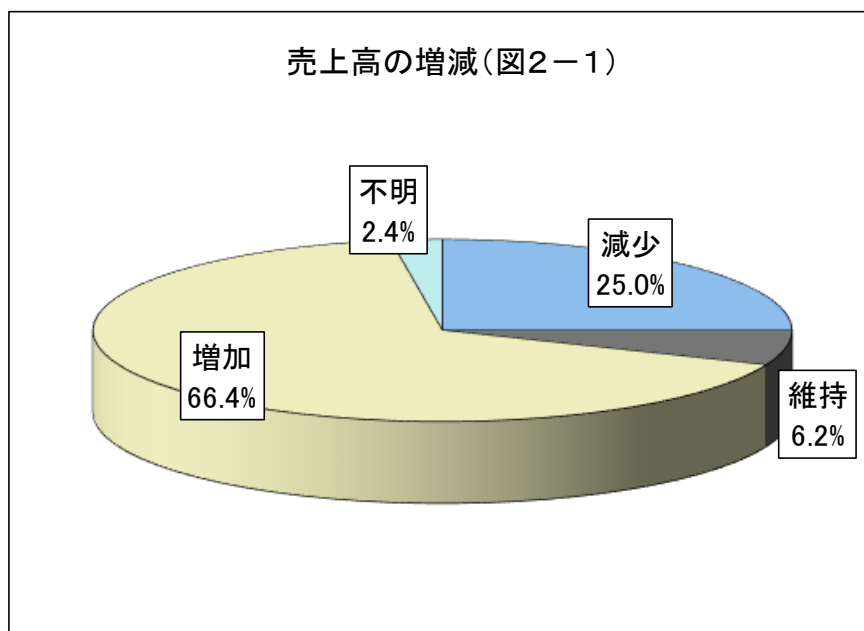
仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の9億7,152万円から10億1,670万円と、3,015万円（3.1%）増加した。

取扱品目別にみると、前年に比べ水産物、花き及び食肉は増加し、青果物は減少した。



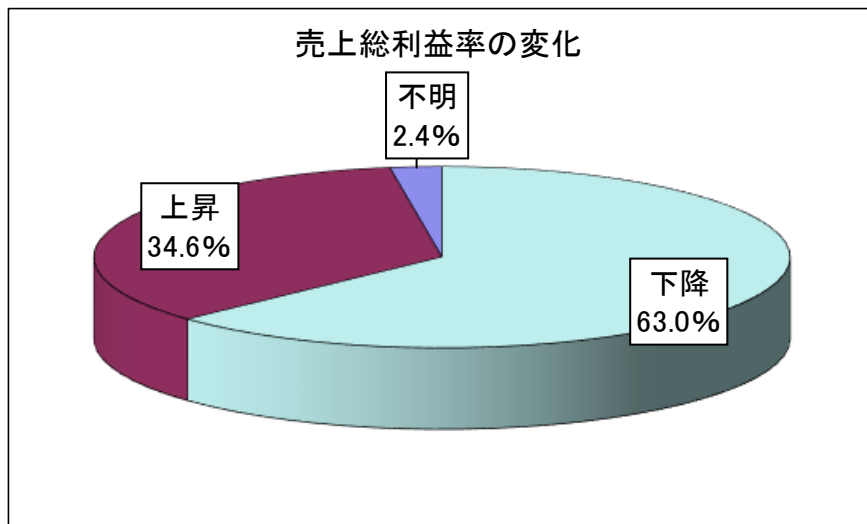
2 売上増加となった業者の割合が増加

売上高が増加した業者は、全体の66.4%（前年22.4%）であった。取扱品目別に増加した業者の割合をみると、水産物は71.1%（前年14.6%）、青果物は57.0%（前年30.9%）、花きは81.6%（前年50.0%）、食肉は58.3%（前年41.7%）となっており、全ての品目において増収となった業者の割合が前年と比べ増加した。



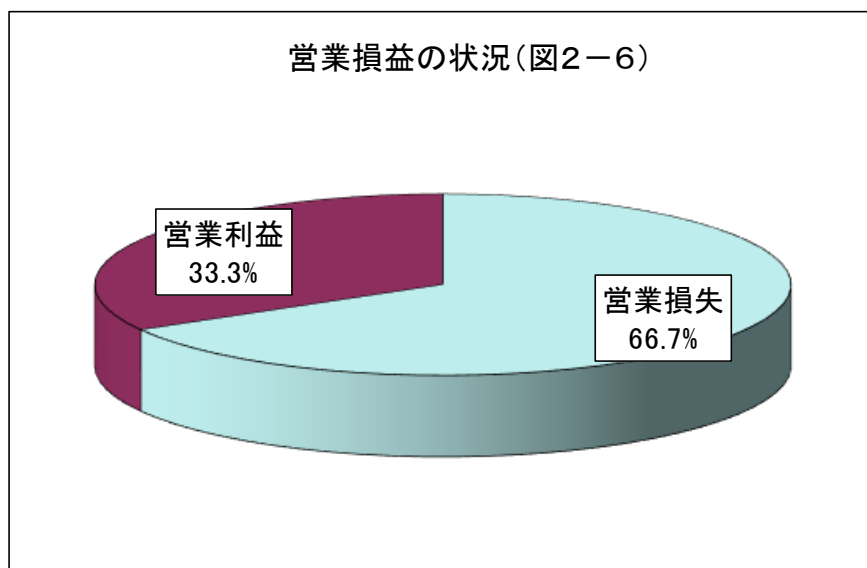
3 売上総利益率は6割超の業者が下降

売上総利益率が下降した業者は全体で63.0%と上昇した業者を上回った。取扱品目別に売上総利益率が下降した業者の割合をみると、水産物は72.5%、青果物は47.9%、花きは55.3%、食肉は58.3%と、水産物花き及び食肉は下降した業者数が上昇した業者数を上回り、青果物は上昇した業者数が下降した業者数を上回った。



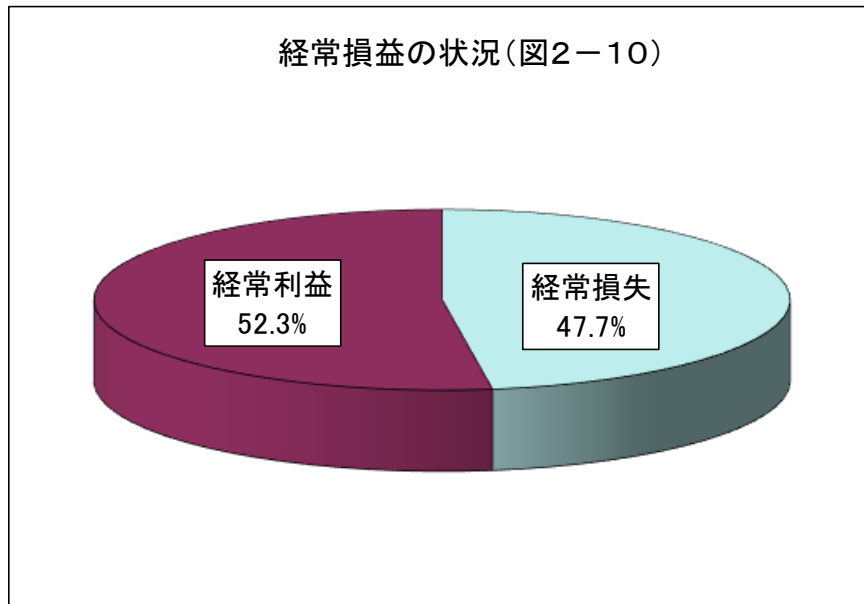
4 営業損益は黒字計上業者の割合が増加

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が33.3%(前年24.6%)、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が66.7%(同75.4%)となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が増加した。取扱品目別にみると、水産物、青果物及び食肉では半数以上の業者が赤字となり、花きでは黒字となった業者数と赤字となった業者数が同数であった。



5 経常損益は5割強が黒字計上

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は52.3%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は47.7%と、前年に比べ黒字業者の割合が7.7ポイント上昇した。前年と比較すると、水産物(前年35.4%→当年44.0%) (以下同様)、青果物(55.3%→62.6%)及び花き(57.9%→63.2%)は黒字業者の割合が増加し、食肉(87.5%→83.3%)は黒字業者の割合が減少した。



6 借入金比率 100%以上の業者の割合は29.6%→29.2%と推移

借入金比率別にみると、無借金経営(借入金比率0%)の業者が75社(8.9%)あった。一方、借入金比率100%以上の業者が246社(29.2%)あり、前年(29.6%)に比べるとその割合は減少した。

また、取扱品目別にみると、借入金比率が100%以上の業者の割合は、水産物では34.3%、青果物では24.5%、花きでは15.8%、食肉では該当がなかった。

